

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室きらり北習志野校		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 7日		2024年 12月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2024年 10月 7日		2024年 12月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 1月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用を楽しみにしてくれるお子さんが多い。	・お子さまの好きなことを中心にしながら支援に取り組んでいて、保護者様にもそれをプラスと捉えていただけるようにフィードバックをしています。	・引き続き、お子さま、保護者様との信頼関係を築きながら「行きたい」と思っていたいただける事業所を目指します。
2	・指導員間の連携が取れている。	・どんなことに対しても声を掛け合うことを意識して行っています。支援がスムーズに行われるように、指導員やお子さんの動きを見ながら適宜必要な作業を指導員一人一人が率先して行っています。	・引き続き、指導員同士での信頼関係を作り声のかけやすい雰囲気を作ってまいります。
3	・事業所の職員から共感的に支援をされていると思うというお声をいただいたこと。	保護者様の声を傾聴し、職員で共有して支援に繋げるという流れを意識している。些細なことでも共有をするようにしている。	・引き続き、保護者様の信頼を得られるような関係作りを行っていきたく考えます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・個別に特化した支援を展開していることで、集団や地域参加が少ない。	・集団や地域資源を生かす機会とスキルが不足。	・地域参加への機会を持つ。 ・集団療育に対する研修に参加したり、他校舎に見学に行くなどして研鑽の機会を持つ。
2	・家族等の参加できる研修の機会や情報提供等が行えていない。	・保護者への家族支援プログラムは行えていない。知識不足。	・機会を作る。 ・他校舎などに前例があれば、どのように行ったかを聞き自校舎に活かす。
3	・保護者同士の交流の機会やきょうだい同士の交流の機会が少ない。	・個別支援が中心の事業所となっていることもあり、交流の機会が持ちづらい。ご利用者様によっては、難しい場合もある。	・ご利用者様の中で、交流の機会を持ちたいと考えている方々に対して、働きかけを行う。 ・こういった交流の場があるとよいか保護者様にアンケートを実施する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」北習志野校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 21名

回収数 15名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	13	2				
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	1				
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	2			自由遊びの時間が少し長いと感じることがあります。	自由遊びの中に含まれている意図などもお伝えしながら支援の在り方についても考えてまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13	1		1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14		1			
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12	1		2		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13	2				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10	1	1	3		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	4	2	5	4	コロナ禍などもあり、なかなか機会がなかったので仕方ないと思う。	地域に開かれた事業所を目指して活動する機会を持ちたいと考えます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14		1			
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	1	5	3		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	13		1	1		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10		2	3		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14	1				
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	2	3	7	本人がなかなか他人と一緒にやるのが難しいため、参加は難しいができる状況であればしてほしい。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	1	1	3		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	2				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7		2	6		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12			3		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11			4		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10			5		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11			4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9			6	事故、怪我等ないのでわかりません。	今後も安心してご利用いただけますよう努めてまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14	1				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14	1			・とても楽しみにしていて、前日からワクワクしています。 ・良い先生が多く、相談しやすい。 ・喜んで行っている。	ありがとうございます。今後も安心してご利用いただけますよう努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	12	3			・親としてもありがたい。	ありがとうございます。今後も安心してご利用いただけますよう努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」北習志野校				公表日	2025年 2月 15日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		ブースで区切り個々に集中しやすい環境を作っています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	3	職員が最低人数の中でも声をかけあって運営しています。	法令で必要とされる配置数+1名以上になる様になると良いと思います。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		ご利用者様や内容に合わせてブース区切ることで、個々の特性に合わせた対応をしています。	自動ドアの電源を切り、手動で開閉を行っています。また防犯のために突っ張り棒をして防犯に努めています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		清掃時間を設け、清潔な空間を心掛けています。	感染症感染拡大防止として、手洗い、換気や、支援後には必ずアルコール消毒を行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	1	ご利用者の声、用途に合わせて使用する場所を決めたり変えたりしています。	使用が難しい場所もあるので、全てではありません。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		定期的に会議を行い振り返ることで、適切な目標を設定することが出来ています。	その都度、職員同士で話し合う機会を設けています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	年に一度実施する保護者からの事業所評価をもとに、頂いたご意見に対し事業所で話し合い、出来ることから改善に向けて努めています。	12月初旬に、令和6年11月までにご利用された方を対象に事業所評価を行わせていただきました。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	支援後のフィードバック時や定期的にお話を伺う機会を設けております。話が合った際には、その都度共有をしています。	共有の時間が限られていますが、業務日誌を活用しています。もれないように工夫は続けていきます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2	利用者・社内の2者評価を実施しています。	今後のサービス提供の改善へとつなげてまいります。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		自校舎による事業所内研修、他教室との連携による事例検討会、発達支援研究所の研修などに参加しています。	外部の研修会等への参加も行っていきたいと思っています。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	3	1	日々のフィードバックの中で保護者と話すことによってアセスメントはその都度行っていますが記録として保管は出来ていません。	アセスメントを記録として残していきます。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	1	その都度、共有をしています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		共有の時間を設け、確認をしています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		情報共有が出来る様、データ化やツールを用いて支援を行っています。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	1	「発達支援」では具体的な支援内容(家庭環境・地域における立ち位置を踏まえ、今何をすべきか話し合い、目標を決め内容を設定)を記載しています。	「家族支援」「地域支援」に関しては、個人差があり、不十分な感じを受けるため、今後は文章表現として目標に盛り込んでいくことで、項目を網羅できるのではないかと考えています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	1	基本的には指導員一人一人がプログラムを考えていますが、指導員間でしっかりと情報を共有し、支えながら日々支援を行っています。	会議の実施だけでなく、普段からの指導員同士のやりとりを大切にしたい。	

の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		同じ指導員が続くことが無いよう調整した上で、以前の支援記録を確認し、継続支援の下実施しているプログラム以外は内容が被らないよう配慮しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	3	1	個別支援に特化しており、集団活動の機会を必ず確保できるわけではない為、組み合わせた立案は行っていません。しかし、保護者の希望に含まれることもある為、時間等を工夫して小集団の時間を設けることもあります。	必要に応じて活動に取れ入れていきたいと考えています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		毎朝朝礼を行い、前日の引継ぎや当日の注意点、シフト調整などスタッフ全員で共有しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		終礼を行い、その日のご利用者様のご様子保護者様からのご要望やその他などを引継ぎをしています。	簡潔にわかりやすく伝える個々の工夫が必要かと感じています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		支援記録は出来る限り早めに記載し、日々の支援の記録から指導員同士で改善点等を共有しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	1	少なくとも半年に一度は計画の見直しを行う為、毎週モニタリングの時間を確保し支援方針の見直し・振り返りを行っています。	
	関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		相談員からの呼びかけに対し、管理者・実際に支援を行っている指導員が参加しています。
25		地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		子育て支援センターや相談員の関係者の皆様と情報を共有しながら支援を行っています。	積極的に連携を取りたいと考えています。
26		併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		保育園の先生や保護者から見学の依頼等がある場合には支援内容を説明し、情報共有して相互理解に努めています。	
27		就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		小学校等に訪問させて頂きながら、先生方や保護者様との情報共有や支援の方向性を確認して相互理解に努めています。	
28		(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
29		質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
30		(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31		(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	1	他事業所との意見交換や交流し、とても勉強になりました。今後は専門機関とも連携にも努めてまいります。	
32		保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		4	個別支援の為難しいですが、利用中の家族を通して保育園や幼稚園等と関わる機会があります。	必要があれば行うことが望ましいと感じます。
33		日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		共有する時間を設け、行っています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	3	フィードバックの時間に困りごとを聞くなどはしていますが、保護者への家族支援プログラムは行っていません。	どのようにプログラムを進めていくのかを学ぶ機会を探し、スキルアップにつなげられたらと考えています。	

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	面談や契約時に管理者が丁寧に伝えていきます。 また、フリースペースに資料集を閲覧できるよう設置しています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	確認が可能なお子さまの意向を確認する時間も設けています。	引き続き行ってまいります。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	面談で話したことを基に支援計画の原案を作成、体験の際に保護者に意見を求め確認しながら本案を作成、提示し説明を行っています。必要な場合は手直しを行い、承諾を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	フィードバック時に最近困っていることなどを伺い、相談に応じています。	フィードバック時以外にも、保護者との面談などが取れる様にさせて頂きたいと考えています。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	現時点では保護者向けの会などは出来ていません。	今後は小集団のイベント時などに、保護者スペースを確保し、交流の場として提供していきたいと考えています。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	要望に対して、まずは傾聴し迅速に取り組みるものから順次取り掛かり対応しています。	今後さらに、周知していき、より良い信頼関係が築ければよいと考えています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	ホームページの校舎ブログは定期的に更新し校舎のイベント情報などを発信しています。また、Instagramの活用をはじめ情報を発信しております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	個人情報が記載されているものに関しては鍵付きのロッカーに保管しています。 書類などに関しては他利用者の目に触れないよう配慮しています。	支援中の事務机上のパソコンや個人ファイル等の管理方法をスタッフ間で確認し気を付けてまいります。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	目線を合わせる、口元を見せる、紙に書く等、お子さんの状態に合わせて配慮しています。	発話が難しい利用者様に対しては、コミュニケーションボードを活用しています
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	地域に開かれた事業運営は行えていません。 継続的に近隣地域とも繋がれると良いと思いますが難しいと感じます。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	マニュアルを研修や毎月の防災訓練で確認し、発生を想定した訓練を実施しています。	保護者向けにフリースペースにマニュアル関連資料を設置しています。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	定期的に防災避難訓練を計画、実際に避難先まで移動することで危険個所を把握し、災害時を想定した訓練を実施しています。（職員のみ）	職員だけでなく、お子さん保護者を交えた防災避難訓練を計画、実際に避難先まで移動することで危険個所を把握し、災害時を想定した引き渡し訓練を実施出来ればと考えています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	契約時やその都度確認をしています。	職員全員に共有がされています。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	食べ物の提供は行っていませんが、食べ物に限らずアレルギー全般についても一覧表で管理しています	契約時アレルギーの有無を確認しております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	年間で研修を行い、訓練も行っています。その都度必要なことを確認し合い、支援を行っています。	引き続き行ってまいります。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	契約時にご説明をさせていただいています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	ヒヤリハットが起きる度に報告書を作成し、事業所内で改善点を話し合い、情報共有しています。	ヒヤリハットに対しての意識を高めていくことが必要かと考えます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	マニュアルを策定しスタッフ間で情報共有しています。 事業所内外で虐待についての研修を受ける機会を設けています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	身体拘束についての情報共有は出来ていますが、支援計画内に拘束に関する記載は事例が無いため盛り込まれていません。	しっかりと理解した上で対応していきます。	